

指導・評価計画 第1学年 家庭科

1 評価の観点及びその趣旨

①、知識・技能	②、思考・判断・表現	③、主体的に学習に取り組む態度
生活や技術に関する基礎的な知識や、生活と技能について、生活の場面で活用できるように理解したり、知識を身につけている。	教科の知識および技能を活用して課題を解決するなどのために必要な思考力・判断力・表現力を身につけている。	生活に必要な知識や技能を習得し、自らの学習状況も把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。

2 「衣生活と自立」「住生活と自立」の評価の観点及びその趣旨ひしき

①、知識・技能	②、思考・判断・表現	③、主体的に学習に取り組む態度
衣服の着用、選択、手入れについて関心をもって学習活動に取り組み、衣・住生活をよりよくしようとする。	衣服の着用、選択、手入れについて課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	衣服の着用、選択、手入れに関する基礎的、基本的な技術を身につけている。
安全で快適な室内環境能登との絵方と住まい方について関心をもって、学習活動に取り組み、住生活をよりよくしようとしている。	安全で快適な室内環境能登との絵方と住まい方について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	住居の機能について理解し、安全で快適な櫃ない環境と住まい方に関する基礎的基本的な知識を身につけようとしている。

3 指導・評価計画

月	項目(学習内容)	評価の観点及びその評価規準	主な評価方法	評価基準 (おおむね満足できる B)	観点別評価観		
4月 5月 ～	<家庭分野ガイダンス> 今の自分とこれまで 家庭・社会の仕事 中学生にとっての家族 <わたしたちの衣生活> 1 コーディネート 2 和服の文化 3 衣服の選択、手入れ 4 衣服の手入れ 5 洗濯、補修・収納・保管 * 上記の内容を、下の〈布を用いた物の製作〉を通して学習する。	・小学校の学習を振り返り、3学年間の家庭分野の学習に関心を持ち、見通しを持つことができる。 ・家族の一人として役割を自覚し、家族の意味を理解しようとする。 ・社会のしている家庭の仕事を理解しようとしている。 ・衣服と社会生活とのかかわりを考え、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる。 ・和服の構成や特徴を理解しようとし、和服の持つSDGsを理解しようとしている。 ・日常の衣服に関心を持ち、身体を覆う衣服の基本的な構成や衣服素材について知ることができる。 ・既制服の適切な選択方法を知る。 ・衣料材料に応じた日常着の適切な手入れと補修ができる。 ・補修の方法が、練習用の布で実施できる。	・行動観察	小学校の学習を振り返り、3学年間の学習に関心を持ち、見通しをもつて取り組もうとしている。	○		○
			・行動観察 ・ノート提出	・小学校の学習を振り返り、3学年間の学習に関心を持ち、見通しをもつて取り組もうとしている。	○		
			・行動観察 ・提出物 ・ノート提出 ・実習態度	・衣料材料に応じた日常着の手入れや衣服の補修について関心をもって学習活動に取り組んでいる。 ・衣服と社会生活のかかわりや、衣服の役割、衣服の構成について関心をもって学習に取り組んでいる。	○		○
			・実習態度 ・提出物 ・作品	・衣服の役割を踏まえながら、個性を生かす着用について工夫している。 ・日常服の手入れについてどのようにしたらよいか考え、工夫しながら取り組んでいる。		○	○
			・作品・課題 ・実技テスト	・衣料材料や汚れの程度に応じた手入れや補修ができる。			○
			・定期考査	・既制服の表示と選択時の注意点を理解している ・洗濯の方法と特徴、洗剤の働きについて理解している ・衣服の社会生活上の機能について理解している・衣服の基本的な構成について理解している	○ ○	○ ○	

11月	〈布を用いた物の製作〉	・自分の生活での活用を考えながら、トートバッグ作りを行うことができる。 ・ミシンを用いる技能を理解しようとし、身につけようとしている。					
12月 ～	〈わたしたちの住生活〉 1 人間にとっての住まい 2 生活に必要な住空間	・自分事として騒ぐ住まいをとらえ、住まいは生活を支えていることを理解する。 家族の住まい方や空間の使い方を理解し、自分の住まい方の工夫を考える。	・学習の様子 ・作品 ・定期テスト	・自分の生活を考慮した作品作りをしようとしている ・作品作りの際に、計画や方法を自分なりに工夫している。 ・安全で能率よく製作することができる。 ・縫製の用具や縫い方などの基礎的な知識を身につけている。	○	○	○
			・提出物 ・学習の様子	・住居の基本的な機能や室内環境の整え方について関心を持って学習活動に取り組んでいる。	○		
			・提出物 ・定期テスト	・室内環境の課題点を見つけ、整え方を工夫している。	○	○	
			・提出物 ・冬休み宿題 ・実技テスト	・室内環境の整え方を理解し、安全で快適な室内環境を整えることができる。 ・住居の機能、安全快適な室内環境の整え方を理解している。 ・各地域の特性を理解し、それが生活に生きていることを理解している。	○	○	○
3月	4 安全で健康的な住生活	・家庭内事故の種類とその原因を知り、幼児や高齢者にとっての安全な住まい方を考える。 ・健康に住まうために、室内環境の調節方法を理解する。 ・自然災害に備えて、住まいを安全に整備する方法を理解する。					
			・学習の様子 ・提出物	・家庭での危険な個所を知り、幼児や高齢者にとってどのような工夫をすることができるのか考えることができる。	○		
			・提出物 ・学習の様子	・安全で衛生的に暮らせる環境の整え方を考えることができる。		○	
			・学習の様子 ・実技テスト	・自然災害の恐ろしさを理解して、対応する方法を知り、実行することができる。		○	○
	5 持続可能な住生活	・持続可能な社会の実現に向けて住まい方の工夫があることを知る。	・定期考査 ・小テスト	・SDGsとの関連性を考えてそれを住生活に生かすことができる。	○		○